アスリートに聞く！ ～スポーツとカラダづくり～

世界最速の羽根（シャトル）を追って、“すべての人に感動を!”

NTT東日本バドミントンチーム

川前選手（左）と佐藤選手（右）

「バドミントンを知っていますか？」と問われて、NOと答える人はいないでしょう。しかし、いざ競技としてのバドミントンを目の当たりにすると、豪快なジャンプスマッシュや超高速の激しいラリー、華麗なフォームから手品のように繰り出される変幻自在なショットに驚くばかり。実は意外に知らないバドミントンの魅力や強さの秘訣について市川市を本拠地に活躍するNTT東日本バドミントン部の町田監督と、トップダブルスの佐藤・川前ペアにお話を伺いました。

■バドミントンの魅力とは？

町田監督　バドミントンのシャトルの初速は、あらゆる球技の中で一番速いんです。トップ選手のスマッシュの初速は時速350kmを超えますから、テニスの倍以上ですし、F1より速い。日本人では当チームの川前が速い方で時速は400kmに達しますが、マレーシアのタンという選手にいたっては421km／hをマーク。世界最速打球として、今年ギネスに認定されました。

しかしトップ選手達はレシーブ力も優れていますから、そんなスマッシュでも簡単には決まらない。強烈なスマッシュと巧みなレシーブの応酬となり、バドミントンの醍醐味といえる迫力あるラリーが続きます。

さらにバドミントンで重要なのが、いかに打つコースを予測させず、相手をだませるかということ。

シャトルにスピン（回転）をかけてコースやスピードを変化させたり、フェイントを駆使して相手の逆をついたり、意地悪でひねくれているようですけど（笑）、それが肝心なスポーツなんですよ。

佐藤選手　バドミントンは、老若男女を問わず誰でも気軽に楽しめるスポーツ。同時に、自分のように小さい選手でも、作戦一つで海外の大きな相手に勝つことができる戦略性の高い競技です。頭と技を使った駆け引きが大きくも

■**町田文彦 監督** 1969年3月17日生まれ 172cm/72kg　1994～96年全日本総合シングルス優勝の元全日本王者　■**佐藤翔冶** 1982年9月19日生まれ 168cm/61kg　2009年全日本総合、単複ともに3位入賞　2010年千葉国体では、単複でポイントゲッターとなり千葉県成年男子チーム優勝の要となった
■**川前直樹** 1982年11月6日生まれ 167cm/62kg　2009年全日本総合ダブルス3位入賞　瞬発力と跳躍力を駆使したジャンピングスマッシュの速さが特長
■NTT東日本バドミントン部HP　http://www.ntt-east.co.jp/symbol/badminton/index.html

のをいう点が魅力ですね。

川前選手　自分はダブルスをやっているので、パートナーの長所短所をよく理解し合い、お互いに、うまく使ったり使われたりすることでより強いペアをつくりあげていけるところも面白いです。

町田監督

■チームの特徴は？

町田監督　NTT東日本は、50年以上日本バドミントン界をリードしてきた伝統あるチーム。昔から男女一緒に練習している唯一のチームという点が特徴です。

男子では、キャプテンの佐藤とそのペアの川前、そして今年全英オープンで準優勝し注目を集めている田児の3人の日本代表がチーム全体のレベルを引き上げています。

女子は、去年の日本リーグ準優勝の牽引（けんいん）車となった田井キャプテン、そして日本代表選手の後藤が若い後輩たちを引っ張っています。

今年、千葉県で開催された国体には、千葉県代表選手として当チームから6人の選手が出場。千葉県成年男子チームは初優勝を飾りました。

■強くなるための秘訣は？

川前選手　ダブルスの場合はチームワークが肝心ですから、よく話し合いしっかりコミュニケーションをとること。自分たちは小柄でパワーに欠ける分、2人でコートを駆け回るスピードを武器としています。

佐藤選手　自分の個性に合ったプレースタイルを見つけること。体形や得意不得意などは人によって様々ですから、自分の長所を発揮し、短所をカバーできるようなオリジナルのプレースタイルをつくっていけると強くなれると思います。

町田監督　どんな練習をしていても、より良い練習に変えていく『意識』が大事。プレッシャーがない状況なら、誰だって力を発揮できます。でも、いくら練習で勝てても、試合で勝てなかったら意味がありません。

試合となると絶対緊張もするし、全くミスをしない選手なんていません。肝心なのは、ここで一本ミスしたら負けるといった精神状態の時に、いかにミスをせずポイントをとれるか。競って緊迫した場面でも、いかに力を発揮して競り勝てるかという点。

そのためには普段から公式戦の緊張感をイメージできるくらいに、常に自分の意識を高く、強くもって練習することが何より大切。それを重ねて、『ここでミスしちゃいけない！』という場面でミスをしない強さを身につけていくことだと思います。

■現在の目標は？

町田監督　日本リーグでの男女アベック優勝です。女子は去年準優勝だったので、今年はさらに前進して頂点を極めたい。男子は去年3連覇を逃し3位に甘んじたので、今年は1位奪還を目指します。

当チームの応援旗には「すべての人に感動を」という言葉が書かれています。必死に戦うことで観る人に感動を届けたいとチーム一丸となって頑張りますので、ぜひ、応援してください！

読者プレゼント

佐藤選手、川前選手のサイン色紙

抽選で４名様にプレゼント！

応募方法は、医師会インフォメーションをご覧下さい。

■バドミントン教室　NTT東日本バドミントン部は、地域貢献活動の一環として東日本各地でバドミントン教室を開催しています。今年の千葉教室は、1月に旭市総合体育館で、3月に市川市のNTT千葉総合運動場体育館で開催。日本のトップ選手達が、小・中学生から主婦までの参加者たちと一緒に楽しく羽根を打ち合いながら実技指導を行いました。来年の日程は未定ですが、決まり次第ホームページ上でご案内するそうです。どうぞお楽しみに！